

春爛漫!! 中央地区お花見会



寒かったり、暖かかったりと3月は変化の激しい中で、4月5日に松本城公園で桜の開花宣言が出されてやっと春本番を迎えました。そんな中4月9日土曜日、晴天にも恵まれ大手公民館開館20周年記念事業の一環としてお花見会が大会議室にて行われました。

コロナの影響により、一昨年、昨年と地区のお花見会は中止となり3年ぶりの開催です。もちろん感染対策はしっかりと取られて定員は半分、マスク着用、換気、お酌は控える、カラオケもありません。少々寂しいお花見会ですが、仕方ありません。自粛々々で色々な催しが中止

寒かったり、暖かかったりと3月は変化の激しい中で、4月5日に松本城公園で桜の開花宣言が出されてやっと春本番を迎えました。そんな中4月9日土曜日、晴天にも恵まれ大手公民館開館20周年記念事業の一環としてお花見会が大会議室にて行われました。

3年ぶりに中央地区に住む人同士が顔を合わせ、お酒も少し入り話の花を咲かせ楽しい一時を過ごしました。残念ながら桜の木の下でという訳にはいきませんでした。が、終了後に三々五々、お城や女鳥羽川の桜見物へと散って行きました。

来年のお花見会こそは桜の木の下で逢いましょう!!

(U・M)



長元坊チヨウゲンボウ

まだテレビやスマホが普及しない昭和20年代の子ども達の遊びの中では、百人一首やカルタ取りなどが人気で、大人も子ども達の仲間に入り一緒に興じたものでした。小倉百人一首は百人の歌人の和歌一首を藤原定家を選び編集したものとされていますが、子ども達は意味が分

からなくても歌の文句を一首でも多く覚えるのに懸命で、覚えただカードは相手に取られないように自分の手の届くところに並べて、一枚でも多く取ろうと夢中になりました。

また、松本を詠んだいろはカルタでもよく遊びました。このカルタには、松本にゆかりのある人物や歴史、史跡などが載っています。何首か列挙してみ

と、

- 「今の警察 昔の番所」
 - 「六九五十四 馬屋跡」
 - 「花の城山 天保より」
 - 「日本一の 小里市長」
 - 「ぬるくて効くは山辺の湯」
 - 「高樓高し 開智校」
 - 「陽谷様は城の北」
 - 「情けの塩の 飴の市」
 - 「無念や長時 小笠原」
 - 「恨みはふかし多田嘉助」
 - 「飲み水の井戸源智の井」
 - 「福島将軍 騎馬旅行」
 - 「紋は六つ星 戸田子爵」
 - 「井川の古城に 湧く清水」
 - 「苦学力行 辻新次」
 - 「京の都に 似た地形」他
- この松本カルタは寸秒を惜しむ今の時代では感得し得ないほどのとした情緒に満ちていて、過ぎ去った当時の情景が彷彿としてよみがえってきます。
- ※現物をお持ちの方は公民館まで一報を。
- (K・T)

先日、母・私・子ども達の3世代でウォークラリーに参加させていただきました。初めてお会いする方とチームを組み、ドキドキしながらも初めは他のチームも同じ方向に歩いているので追いつけ追い越せの攻防戦でした。後半他のチームが見えなくなると道が合っているの不安を感じることもありましたが、「この道で大丈夫!」と確信する息子の姿に成長したなあと思う母は涙(笑)。結構な距離を謎解きしながら歩き無事ゴール。上位の入賞は出来ませんでした。が、飛び賞で景品をいただくことが出来ました。

土井尻町 下澤 みずほ



町会紹介 二ノ丸町

二ノ丸町会は、明治後半から大正時代に、お堀の埋め立てが始まったと聞いています。埋め立てには石灰殻や貝殻、色んな物が入られたと聞いています。

埋め立てられたお堀の復元事業の経過を調べてみますと、広報まつもと2018年9月号には、昭和51年度に「松本城中央公園整備計画」が策定されたとあります。

次に平成11年度に「松本城およびその周辺整備計画」が策定され、この計画に基づき、平成19年度から南・西外堀の復元を事業化し、平成25年度から事業用地の取得が始まり、現在取得率は七割を超えています。

ご存知の通り、平成29年度の調査で、事業用地の「鉛及びその化合物」による汚染が確認されました。これにより、汚染土壌の処分費用が発生するなどの課題が生まれたことから、課題解決の研究と事業用地の取得を同時に進めるため、一時的に「平面整備」の事業転換がなされました。

現在は土壌汚染対策法が改

正され、汚染された土壌でもその後の管理が適切になされれば、道路の盛土などの公共事業にも利用できることとなり、水を湛えたお堀の復元が現実味を帯びてきました。

事業用地の取得前の平成22年には、二ノ丸町会の世帯数は71軒ありましたが、現在は20軒になっています。

立ち退きで二ノ丸町会に居られなくなった住民、同じ町会内へ移った住民、これから旧医師会館跡地に移る住民もいます。お堀の復元事業に協力した住民の想いをたたえ、あらためて町会内の絆を深めていく必要があります。

(奥田正男町会長の原稿を
館報編集委員会で加筆・修正)

中央地区の樹木 ⑩

マロニエ

フランスではトチノキの一種を「マロニエ」と呼び親しんでいる。マロニエを和訳すると「ウマグリ」。

トチノキは落葉高木。大きいものは直径2m、樹高25mに達す。日本では北海道〜九州の山地に生じ、葉は大形のてのひら状複葉、小葉は5〜7枚、無柄、長



▲マロニエの木 ▲マロニエの花

写真は緑町のレストラン鯛萬のマロニエ。パリの並木をイメージして植えられたとのこと。

さ20〜35cm、花は淡黄白色で多少紅色をおびるものもある。引用：岡本省吉著「標準原色図鑑」

「アディオスアミーゴ!!!」



お疲れ様でした☆

地区の皆様方と7年間苦楽を共に過ごさせて頂きありがとうございました。私は、後期高齢者になりご面倒をかける側になります。宜しくお願ひします。松本山雅から元気をもらって楽しく過ごします。また、応援もよろしく。

中央地区 前公民館長 高野 隆治

退任のあいさつ

新任職員紹介

公民館から

中央地区 地域づくりセンター長 藤森 千穂



中央地区は地区内に松本城があり、来年には新博物館の開館をひかえ、また今後三の丸エリアビジョンによる世界水準の歴史観光エリアとして整備がされていく文化・観光のまちと感じています。地区内の皆さまが住み良いまちになるよう努めてまいりたいと思いますので、何かありましたらお気軽にお声をおかけください。

大手公民館長 遠藤 彰



4月から公民館長になりました土井尻町会の遠藤彰です。公民館は住民の皆さんのためにある施設です。公民館の事業で、地域を知り、好きになることが、地域を良くしていくことにつながります。繋がりが、地域づくりが進みます。そんな地域づくりのお手伝いができる公民館を目指します。若輩者ですが、よろしくお願ひいたします。

今年度の公民館・福祉ひろば関係の職員です。1年間よろしくお願ひします。

公民館

- 公民館長 遠藤 彰
- 主任 中條 克明
- 事務職員 上條 文子
- 近藤 真紀

地域づくりセンター

- センター長 藤森 千穂
- 福祉ひろば コーディネーター 山崎恵美子
- 生活支援員 鈴木 聡子
- 竹川 洋子

館報編集委員会

- ◆全市版 ◎委員長 澤柳 秀子 (鷹匠町)
- ◆中央地区版 ◎策輪 徹朗 (鷹匠町)
- ◎久保田忠史 (松栄町)
- 澤田 昭子 (上土町)
- 藤森 安子 (上土町)
- 宇留賀 勝 (北土井尻町)

主事より

今年は大手公民館が開館20周年です。地区の皆さん、さらには市民の皆さんに集まってもらえるよう、気軽に、楽しさから始まる学びを提供し、住民主体の地域づくりの伴走者を目指します!!

公民館主事 中條 克明